

京都大学学生表彰申請用参考資料 1

単 麟* (Lin Shan)

December 25, 2009

京都大学大学院情報学研究科

*情報学研究科 通信情報システム専攻 吉田研究室 博士後期課程 2年

IEEE (米国電気電子学会) 学生会員

IEICE (電子情報通信学会) 学生会員

京都府名誉友好大使

京都大学中国留学生学友会 会長

京都地区中国留学人員友好聯誼会 会長

京都大学嵐山合唱団 団長

京都大学中国学者学術交流会 理事

全日本中国留学生人員友好聯誼会 副会長

京都府日中友好協会—中国留学生部 顧問

目次

1. 社会活動記事統括
2. 京都大学留学生歓迎パーティー—松本総長挨拶の中国通訳役担当
3. 京都大学中国留学生学友会の紹介及び主要な活動記事
 - 3-1 京都大学中国留学生学友会の紹介
 - 3-2 京都大学中国留学生新年会
 - 3-3 京都大学中国留学生新入生歓迎会
 - 3-4 Young Dream in Kyoto 日中青年文化交流公演
 - 3-5 京都留学生体育祭
 - 3-6 国会議員等との対話—留学生問題懇談会
4. 京都大学嵐山合唱団の設立及び活動記事
 - 4-1 京都大学嵐山合唱団の誕生と会則
 - 4-2 活動記事
5. 京都府名誉友好大使 - 知事任命及び活動記事
 - 5-1 京都府山田知事より「京都府名誉友好大使」に任命
 - 5-2 活動記事
6. 京都大学中国学者学術交流会の設立及び活動記事
7. 障害者機構への協力とボランティア活動
関西障害者国際交流協会、中国障害者芸術団

1. 活動記録統括



松本総長挨拶の中国通訳役担当（右2単麟）2009年6月



中国建国60周年及び日中友好調印36周年の宴会（左大阪府橋本知事、右単麟）



日中問題時事懇談会（2 元内閣官房長官野中広務氏、右 3 中国駐大阪総領事館総領事鄭祥林氏、左 2 京都大学中国留学生学友会会長単麟） 2009 年 11 月



京都府知事より京都府名誉友好大使の任命式（単麟（左下）、山田知事（真中））



左元中国外務省副大臣駐日本特命全権大使王毅、右中国留学生代表単麟(2007年10月)日中友好交流の促進と発展へ積極的に貢献したことで、中国駐日本大使館から表彰を受けた。

2. 京都大学留学生歓迎パーティー—松本総長あいさつの中国通訳者を担当

京都大学 2009 年度外国人留学生歓迎パーティー 挨拶

(2009 年 6 月 16 日)

第 25 代総長 松本 紘



中国

出身の单麟 (右2)、ウズベキスタン出身の Alisher Begmatov、韓国出身の安周永が松本総長の挨拶をそれぞれ中国語、英語、韓国語で通訳しました。

皆さん、こんばんは。総長の松本紘です。ここに皆さんをお迎えすることができて大変喜んでおります。

诸位，晚上好。我是校长松本紘。很高兴能够在此表示对大家的欢迎。

여러분, 안녕하십니까? 총장 마쓰모토(松本) 히로시(紘)입니다. 이렇게 여러분을 초대하게 되어서 대단히 기쁩니다.

Good evening Ladies and Gentlemen. My name is Hiroshi Matsumoto and I am the president of Kyoto University. I am very glad to extend a warm welcome to everyone.



左から松本総長、右から中国出身の**单麟**(京都府名誉友好大使、京都大学中国留学生学友会会長)

本日のパーティーはこの一年間に新しく京都大学に来た留学生に案内をしましたので、来日してすでに1年近く経った方やまだ来日間もない人もいますので、簡単に京都大学の紹介をいたします。

今天的宴会，邀请的是这一年之内新到京都大学的留学生。在这当中可能有已经来了将近一年的同学，也有刚到的同学。所以，我就先向大家介绍一下京都大学。

오늘의 행사는 지난 일년 동안 교토대학에 온 유학생을 초대할 자리입니다. 일본에 온지 1년이 되어 가는 분이나 아직 일본이 온지 얼마 안되는 분도 있다고 생각하기에, 간단히 교토 대학을 소개하고자 합니다.

We gather here today with International students who came to Kyoto University to study this year, in celebration of an eventful party. I think a few of you arrived last year and some, not long before and hence I would like to briefly introduce you all to Kyoto University.

京都大学は3つのキャンパスと全国に散在している研究施設の中に、約3000名の教員と、2500名の職員が働いています。そして、それぞれの役割の中で教育や研究活動に携わっています。また約22700名の学生のうち、皆さんのように外国から京都大学へ学びに来ている学生が1400名余りいます。この他にも、多くの外国人研究者が本学を訪れて研究を行いますが、それぞれが支え合って活動していることを心にとめておいてください。

京都大学拥有三个校区及分布在全国各地的多个研究设施。约有3000位教师及2500名职员在这里各尽其职，从事于教育及各领域的研究工作。在22700名的在校学生当中，有1400余名是与在座的各位一样来自于世界各地的留学生。另外还有很多外国研究人员在这里进行访问研究。大家也要和他们一样，彼此互相携持，共同努力工作。

교토 대학은 세 곳의 캠퍼스와 전국 곳곳의 연구시설에서, 약 3000 명의 교수와, 2500 명의 직원이 일하고 있습니다. 그리고 각자 주어진 환경 속에서 교육이나 연구 활동을 하고 있습니다. 또한, 약 22700 명의 학생 가운데, 여러분과 같이 외국에서 교토 대학에 와 공부하고 있는 학생이 1400 명남짓 있습니다. 그 외에도, 많은 외국인 연구자가 본교를 방문해서 연구를 하고 있으며, 서로 의지하며 활동하고 있는 것을 마음에 담아 주시기 바랍니다.

Kyoto University has about 3000 faculty staff members and 2500 administrative staff members in three campuses and many research facilities scattered all throughout the country. And in their respective roles, they are engaged in education and various research activities. Out of the 22700 students at Kyoto University, 1400 are foreign students. As well as this, please keep in mind that many foreign researchers come and conduct their researches here, as well as taking an active part supporting each other.

さて、昨年 12 月に本学名誉教授の益川敏英先生がノーベル物理学賞を受賞されましたことや iPS 細胞を世界に先駆けて創り出した山中伸弥教授の業績は皆さんもご存知のことでしょう。その他にも世界のトップの研究成果を上げている優れた教員を数多く京都大学は擁しています。本学の 110 年を越える伝統と本学の自由の学風がその礎にあったものと信じております。

众所周知，去年 12 月，我校名誉教授益川敏英先生获得诺贝尔物理学奖，山中伸弥教授领先世界，首创 IPS 细胞。京都大学拥有众多像这样，创造出世界一流研究成果的优秀教师。而这些成果，我认为都与我校 110 年的悠久传统和自由学风分不开。

그리고, 작년 12 월에 본교 명예교수인 마스크와 토시히데 선생님이 노벨 물리학상을 수상한 것이나 iPS 세포를 선구적으로 만들어 낸 야마나카 교수님의 업적은 여러분도 이미 알고 계실 것입니다. 그 밖에도 교토대학에는 세계 최고의 연구 성과를 올리고 있는 뛰어난 교수님이 많이 있습니다. 110 년을 넘는 전통과 자유로운 본교의 학풍이 그러한 업적의 초석이 되었던 것이라고 믿고 있습니다.

Well, I suppose, that you are all aware that last year in December, an honorary professor Emeritus Toshihide Maskawa received the Nobel Prize in physics. And also Prof. Shinya Yamanaka`s anticipating global achievement in creating the 'iPS cell'. Kyoto University embraces excellent faculty staff members who have achieved various top global research results. The culture of Kyoto University is illustrated over 110 years old tradition and the hypothesis of free method of study.

また、京都市は、1200 年以上の歴史を持つ都市であり、市内や周辺地域だけでも世界文化遺産や国宝級の文化財に出会うことができます。勉強の合間を縫って、京都をはじめとした日本の文化に触れ、その印象を皆さんの国の方たちにも伝えてください。そして皆さんのお国のことも私たちに教えてください。

另外，京都市，是有着 1200 年以上历史的文化古都。市内及周边地区就有世界文化遗产和国宝级文化设施。大家在学习之余，有机会一定多走走，多看看，了解京都，接触日本文化并请把对日本的印象介绍给贵国的朋友们。同时，也请告诉我们，贵国的各种文化。

또한, 교토시는, 1200 년 이상의 역사가 있는 도시이며, 시 곳곳에서 세계 문화 유산이나 국보급의 문화재를 만날 수 있습니다. 공부하는 중에 잠시 시간을 내어, 교토를 비롯한 일본의 문화를 체험하고, 그 느낌을 출신국가의 여러 사람에게도 알려 주십시오. 그리고 여러분의 나라에 관해서도 우리들에게 가르쳐 주십시오.

Kyoto city is the city which embraces over 1200 years of historical tradition. Only in and around the city you can come across World Cultural Heritage and cultural assets which are in a class of national treasure. When you have time to spare from your study, please try to engage with the core of Japanese tradition, the Kyoto culture. And please convey your impression to the people from your countries, and share the culture with us from your own individual countries.

京都大学の日本人学生の多くは、一見内気そうに見えますが、実はとても利発で元気な若者達です。皆さんと同じように海外の国に興味を持ち、外国へ留学を希望する学生も増えています。どんどん話し合っ、互いに理解し合い、良い友情を築いてほしいと願っております。それが、これから皆さんが世界で活躍する時にはグローバルネットワークとなり、役立つことを願っています。

京都大学的日本学生，虽然多数看起来好像都很内向含蓄，但实际上都是很聪明活跃的年轻人。和在座的各位一样对外国感兴趣，想要到外国留学的学生也在不断增加。衷心希望你们之间能够不断交流，促进彼此理解，建立起深厚的友情。希望这份友谊，在日后诸位活跃于世界各地之际，能够助你一臂之力。

교토 대학의 일본인 학생의 대부분은, 언뜻 보이게는 내성적인 것 같지만, 사실은 매우 슬기롭고 건강한 젊은이들입니다. 여러분과 같이 해외에 흥미를 가지고 있으며, 유학을 희망하는 학생도 늘어나고 있습니다. 적극적으로 상의하고, 서로를 이해해 가며, 좋은 우정을 쌓아가기를 기원합니다. 이러한 우정이 앞으로 여러분이 세계에서 활약할 때의 네트워크가 되어, 도움이 되기를 바라겠습니다.

Many of the Japanese students who commute to Kyoto University seem shy, in fact they are intelligent and high-spirited youths. Like you, they are interested in foreign countries which has shown an increasing number of students who

wish to study abroad. I hope you will all converse among yourselves not only to mutually understand each other, but also to strike up a good friendship. I hope that it will also be useful for global networking in your future careers.

さて、今夜は実にたくさんの方々がこのパーティーに参加してくださいました。皆さんを指導する先生方、京都市・大阪市の国際関係団体や、奨学財団の方々も激励にきてくださっています。時間の許す限り、皆さんと語り合い、楽しい時間を過ごしてください。

最后，还要特别说明的是，我们荣幸的请到了各界嘉宾参加今天的宴会，其中有各位的指导老师，京都市、大阪市的国际关系团体和各类奖学金财团的嘉宾等等。希望大家尽情交流，共同度过一个愉快的夜晚！

마지막으로, 오늘 밤 많은 분들이 이 행사에 참가해 주셨습니다. 여러분을 지도하는 선생님들, 교토시•오사카시의 국제관계단체, 장학재단의 관계자 분들도 여러분을 격려해 주시려고 와주셨습니다. 시간이 허용하는 한 많은 분들과 이야기를 하고, 즐거운 시간을 보내 주십시오.

Well tonight, many people are here at this party. Also attending tonight are Kyoto University professors, guests from Kyoto city, Osaka City international group, and the scholarship foundation. If you have time please converse with as many guests as you can and have an enjoyable time.

ありがとうございました。谢谢。감사합니다.Thank you.

3. 京都大学中国留学生学友会の紹介及び主要な活動記

3-1 京都大学中国留学生学友会のご紹介

京都大学中国留学生学友会は、京都大学の中国留学生（訪問学者、大学院生、研究生、研修生、学部生を含む）により、結成されている京都大学の公認団体である。本学友会は、留学生達の在日生活を豊かさせ、学業を順調に進めるため、留学生たち間での交流や生活上の協力しあいを促進すること、会員たちの特長を利用して祖国に貢献しようとさまざまな交流活動を催すこと、日中友好団体、友好人士、在日華僑の方々との交流を通じ、未来を向ける中日両国の国民の間での友好関係を発展させることを目的とする。

京都大学中国留学生学友会は 1982 年 12 月に創立され、すでに二十数年間の歴史を持ち、関西地方で最も早く設立したまたは一番大きい中国人留学生の学生団体と言われている。現在、学友会のメーリングリストを通じて、留学生と日中友好団体、友好個人、在日華僑及び世界他の中国人留学生団体などとの交流を行っている。

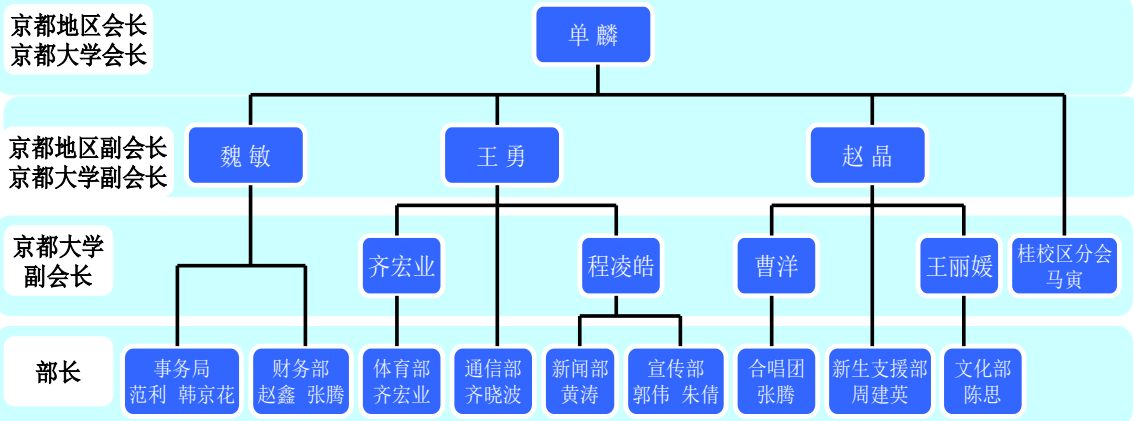
本会が、結成されてから長年に渡って、京都大学、中国駐大阪総領事館教育室のご指導及び京都府内にある日中友好団体、日本人士及び華人華僑からのご支援とご協力を頂いている。特に、本会の後援団体である「京都大学等中国人留学生支援会」（前「阪神地区京大等中国人留学生を支援する会」）は成立以来、我々京都地区中国留学生に対して、大変なご支援とご協力を頂いている。

本会は、結成 27 年以来、多くの面で、有効かつ多彩な活動内容により、各界からの注目を浴びている。恒例の京都大学中国留学生「新入生歓迎パーティー」、中国の伝統的な行事である「中秋賞月晚会」と「春節聯歡晚会」が主催する。本会のメーリングリストを用い、留学生の皆さんにいろいろな学習、生活情報を提供する。また、日中友好団体或いは中国留学生との間で、スポーツ友好親善競技大会を行い、留学生達が、豊富多彩な在日生活をお暮らさせると同時に、日本友人との相互理解と友好親善を深めることができ、日本各界と幅広く交流し、非常に積極的な効果を得た。本会が、近年以来、京都地区中国人留学生達に呼びかけ、日本の阪神大震災、中国河北省張家口大震災、中国四川大震災と長江、松花江流域大洪水の被災者、中国での SARS 闘争のための募金活動を行った。また、国内貧困地区の失学少年らに対する募金活動（「希望工程」）を行った。

この二十数年来、京都大学中国留学生学友会が、京都大学、中国駐大阪総領事館や数多くの在日企業のご支持、日本各界の友好団体と日本友人のご指導とご支援で、歴任学友会幹部達の努力及び京都大学中国留学生の積極的な支持と参加の上で、より円滑的に運営していると同時に、より数々な成果があげられ、内外的に高く評価された。これから、祖国の未来と中日友好、より快適な留学生生活を過ごすために、皆さん一緒に頑張っている。

京都大学中国留学生学友会
2009 年度 会長 単 麟

2009度京都大学中国留学生学友会組織図



京都大学中国留学生学友会 顾问：森 纯一（京都大学副理事）、刘德强（京都大学经济学研究科教授）
留学生事务顾问：韩立友（京都大学国际交流センター助教）

名誉会长：马 啸（西日本地区学友会会长） 名誉副会长：李 涓、徐 鹤、马一丹（京大生协委员会委员长）

京都大学 嵐山合唱团 顾问：田 伟（东方文化艺术团团长） 团长：单 麟 副团长：赵 晶 指挥：齐宏业

京都大学中国学者学术交流会 顾问：刘德强（京大教授） 理事：王建国（教授）、李文飞（副教授）、韩立友（京大助教）
单 麟、姚新秋、齐宏业、徐婉利 等

2009 年度京都地区中国留学人员友好联谊会委员会名簿

2009 年度京都地区中国留学人员友好联谊会常委会成员名单		
姓名	所属学校	学友会职务
单麟	京都大学	京都地区中国留学人员友好联谊会 会长 京都大学中国留学生学友会 会长
魏敏	京都大学	京都地区中国留学人员友好联谊会 副会长 京都大学中国留学生学友会 副会长
王勇	京都大学	京都地区中国留学人员友好联谊会 副会长 京都大学中国留学生学友会 副会长
赵晶	京都大学	京都地区中国留学人员友好联谊会 副会长 京都大学中国留学生学友会 副会长
周巍巍	同志社大学	京都地区中国留学人员友好联谊会 副会长 同志社大学中国留学生会 会长
刁雪菲	立命馆大学	京都地区中国留学人员友好联谊会 副会长 立命馆大学中国留学生会 会长

白雪	京都工芸繊維大学	京都地区中国留学人員友好聯誼会 副会长 京都工芸繊維大学中国人留学生联谊会会长
曹春輝	龍谷大学	京都地区中国留学人員友好聯誼会 副会长 龍谷大学留学生会 会长
高飛	京都府立医学大学	京都地区中国留学人員友好聯誼会 副会长 京都府立医学大学中国留学生会 会长
宋奎明	仏教大学	京都地区中国留学人員友好聯誼会 副会长 仏教大学中国留学生会 会长
吳建民	京都産業大学	京都地区中国留学人員友好聯誼会 副会长 京都産業大学中国留学生会 会长
荆浩	京都府立大学	京都地区中国留学人員友好聯誼会 委员 京都学園大学中国留学生联络部 代表
陳少暉	京都学園大学	京都地区中国留学人員友好聯誼会 委员 京都学園大学中国留学生联络部 代表

京都地区中国留学人員友好聯誼会の構成

京都大学中国留学生学友会

-京都大学嵐山合唱団

-京都大学中国学者学術交流会

同志社大学中国留学生会

立命館大学留学生委員会

京都工芸繊維大学中国人留学生聯誼会

龍谷大学留学生交流会

京都産業大学中国留学生学友会

京都府立医学大学中国留学生聯誼会

仏教大学留学生学友会

京都地区中国留学人員友好聯誼会

2009年度 会長 単麟

3-2 京都大学中国留学生新年会

活動案内

拝啓 春寒の候、時下益々ご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は本会のご高配、ご協力を頂き、誠に有難く厚く御礼申し上げます。

さて、この度 **2009** 年度京都大学等中国留学生の春節聯歓会を下記により、留学生を始め、普段お世話になっている大学の先生、中国駐大阪総領事館教育室の先生及び日本友人の方々を招いて開催致します。中華民族の伝統節日に留学生同士の交流同時に、留学生と日本学生、日本友人との友好関係も促進したいと存じます。ご参加下さいますようお願い申し上げます。

敬具

記

日時 **2009** 年 **2** 月 **9** 日 (月, 元宵節-中国旧暦の正月十五) 午後 **5** 時 **30** 分~**8** 時

受付は5時から

場所 京都大学百周年時計台記念館 2階国際交流ホール

住所: 〒**606-8501** 京都市左京区吉田本町

電話: **075-753-2285**

内容 文芸演出、食事会、表彰など

参加者人数 各界来賓 **50** 人、中国留学生 **140** 人、日本学生 **38** 人 合計 **228** 人

主催 京都地区中国留学人員友好聯誼会

京都大学中国留学生学友会

後援 中国駐大阪総領事館教育室

京都大学等中国人留学生後援会

京都大学国際交流センター

京都地区中国留学人員友好聯誼会

京都大学中国留学生学友会

会 長 単 麟

会長の開会挨拶

皆様今晚は、本会の会長の単麟で御座います。新年おめでとうございます。私は本会のために微力ながら、お役に立ちたいと存じます。ご承知の通り、本会は京都地区の中国留学生の集いでございます。私たちは、日本での留学生生活を豊かにするとともに、学業を順調に進めるための、手助けすることを目的としています。そのうえ、日中友好に微力を尽くせば、幸だと存じます。

まず、本会の結成以来、ご支援を惜しなかつた、京都大学の先生、大阪総領事館の領事、日本友人及び華僑方にお礼を申します。昨今、世界中に経済不況の荒波が及んでいますが、社会人の皆様はそれに負けず、踏ん張ると存じます。そして、我々学生は自分の学業に専念

すること、また、就職活動中の学生の皆さんは、大変でしょうけど、一生懸命に最後まで頑張らしましょう。

最後に、今年は皆様にとって幸せな年になりますように、お祈りいたします。



京都大学経済学研究科大西広先生の挨拶



日本学生の演奏

単麟会長の挨拶

3-3 京都大学中国留学生新入生歓迎会

日時 2009年4月26日(日) 午後5時50分～8時 30分 受付は5時20分から
場所 京都大学百周年時計台記念館(京都大学本部構内正門正面)
2階国際交流ホール
住所 〒606-8501 京都市左京区吉田本町
電話 075-753-2285
内容 文化公演、懇談会など
参加者人数 合計260人、来賓60人、中国留学生145人、日本学生及び他国留学生55人
主催 京都地区中国留学人員友好聯誼会
京都大学中国留学生学友会
後援 中国駐大阪総領事館教育室
京都大学等中国人留学生後援会
京都大学国際交流センター
KBS 京都
京都新聞社

京都地区中国留学人員友好聯誼会
京都大学中国留学生学友会

来賓代表

京都大学副理事 森 純一 先生
中国駐大阪総領事館教育室参事官 劉占山 先生
京都大学等中国人留学生後援会会長 松村秀一 先生

学友会会長より挨拶

尊敬の皆様今晚は、単麟と申します、現在、京都大学情報学研究科博士後期課程2回生です。私は中国の遼寧省の瀋陽出身です。2001年10月から来日して、京都での勉強生活は8年目でした。

まず、本会の結成以来、ご支援惜しまなかった、大阪総領事館の先生方、日本友人、華僑さま、およびご指導を下さった大学の先生方にお礼を申し上げます。そして、京都地区新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。私は、在校生を代表して、心から歓迎します。人生の中で最も輝いている今の気持ちを忘れずに、自分の自信を持って道を進んでください。私達は皆さんの活躍を大いに期待しています。



新入生歓迎会上の集合写真



京都大学留学生新入生歓迎会上の乾杯式



京都大学副理事 森純一先生

京都大学嵐山合唱団団長 単麟



中日友好万年長の贈呈式

3-4 Young Dream in Kyoto 日中青年文化交流公演

Young Dream in Kyoto

2009 日中青年文化交流公演

活動名：Young Dream in Kyoto 2009 日中青年文化交流公演

趣旨： 10月、このキンモクセイの薫り漂う爽やかな秋の季節に、中国留学生と日本学生達の友好交流を目的に、国際間の文化交流を促進し、京都府との「かけ橋」としての役割を果たそう。今年、日中友好36周年と中華人民共和国建国60周年の記念の年を迎える。重ね重ねのお目出度を祝い、文芸演出を通じて国際交流を行い、両国間の文化面の相互理解を深め、異民俗文化の友好交流を図ることを目的として、我々京都府の留学生は、**Young Dream in Kyoto 2009 日中青年文化交流公演**を開催する。これを通じて、日中両国友好交流の明るい未来を祈願する。

日時： 2009年10月2日（金） PM 3:00 開場 PM 3:30 開演

場所： 京都大学百周年時計台記念館 百周年記念ホール（定員500人）
〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学本部構内正門正面

参加者人数： 合計：585人 観客480人、出演者80人、学生スタッフ25人

主催： 京都日中青年文化交流公演実行委員会

京都地区中国人留学生聯誼会

京都大学中国留学生学友会

共催： 京都大学嵐山合唱団

東方文化芸術団

京都府名誉友好大使自主活動実行委員会

同志社大学中国留学生会

立命館大学留学生委員会

京都工芸繊維大学中国人留学生聯誼会

龍谷大学留学生交流会

京都産業大学留学生学友会

京都府立医学大学中国留学生聯誼会

仏教大学留学生学友会

後援：

京都府
京都市
中華人民共和国駐大阪領事館
京都大学
京都府日中友好協会
京都府華僑総会
京都市国際交流協会
京都大学等中国人留学生後援会
西日本地区中国留学人員友好聯誼会
立命館大学孔子学院
関西華文新聞社

協賛 株式会社ニトリ
中国留学生学友会推薦免許センター
株式会社長栄
株式会社フラットエージェンシー
株式会社フォースバレー・コンシェルジ

公演内容：

来賓挨拶

第一部：京都大学嵐山合唱団による合唱

説明： 京都大学嵐山合唱団は京都大学中国留学生、日本学生が共に結成した公認団体であり、日本における留学生団体の中で、初めての合唱団でもある。日中学生の友好交流を趣旨に、今回は京都大学嵐山合唱団の歌をもって文芸晩会の幕開けとする。

第二部：京阪神地区大学生歌合戦

参加者：京都、大阪、神戸各大学の学生

説明： 音楽には国境を超える。各大学の大学生が参加する歌合戦をもって各大学間、日中青年学生間の文化交流を促進し、日中両国友好交流の明るい未来を祈願する。

第三部：総合文芸演出（内容：民族器楽演奏、各国民族舞踊、武術、曲芸など）

出演：東方文化芸術団、各大学学生代表、日中文芸団体など

説明： 文芸演出を通じて国際交流を行い、両国間の文化面の相互理解を深め、異民俗文化の友好交流を図る。

Young Dream in Kyoto

2009 日中青年文化交流公演写真



中国大阪総領事館総領事 鄭祥林



衆議院議員 竹内 譲



京都大学副理事 国際交流機構長 森 純一



中国青年代表 单麟 日本青年代表 田坪成浩

日中青年文化交流活動の日中青年代表者のスピーチ

日中両国は、一衣帯水にして、二千年余にわたる友好交流の歴史が有ります。従来日中友好の基本は、両国国民の友好であり、相互理解と相互信頼がきわめて重要であると思います。21世紀の日中友好は両国国民のさらなる協力が期待されており、とくに若い世代に大きな希望が寄せられています。われわれは、新時代の青年として、普段は学校の生活だけでなく、世界意識をみにつけ、日中両国の交流が深まる（ふか）架け橋になるべきであり、日中友好のためにより多くの

力を捧げたいと思っております。

京都嵐山合唱団



京都嵐山合唱団(1)

合唱団団員：京都地区各大学の中国人留学生（38人）、日本人学生（9人）、韓国人学生（2人）、イギリス人学生（1人）より構成される



京都嵐山合唱団(2)



民族ダンス



京劇



太極拳



同志社大学 WINFI Group

3-5 京都留学生体育祭

京都留学生体育祭

趣旨：各大学の留学生と日本人学生との交流を深めよう。

活動開催理由と留学生現状：今日本にいる留学生が町とし増えている中、日本の大学がどんどんグローバルの波に乗って、多くの留学生を受け入れています。特に京都で学生のまちとして、留学生の人数も3千人を超えています。しかし、留学生は大学入学後、勉強やアルバイトでほとんどの時間を占めて、周りとの交流が少ないことが事実である。今は異文化交流会や芸術面での交流会や何人かのパーティーはあるのですが、規模が小さいため、多くの人と接する機会が少ないのである。入学当初知り合った友達以外の人と出会いの場や時間もなく、交際の範囲が限られてきていて、そこから新しいネットワークを広げることが難しい。若者は多くの人と出会い、多くの人からエネルギーをもらうことがとても大事である。しかし、今の多くの留学生の生活状態は単調すぎて、新しい刺激や努力目標を失う人も出てきています。本来、若者に人気のある「スポーツ」も友達と一緒にやる場所や共有の時間がないため、したくてもできないことに多くの人が残念に思っている。自分の祖国を離れ、異国にいる中で生活のため、仕事をする以外に運動と触れ合うようなことは少なく、留学生の友達に聞いたところ、大変多くの人が運動会みたいなことをやりたいというデータを得ました。その理由は生活が単純すぎて、遊びにしてもカラオケに行くぐらいしかないので。また、音楽祭や各大学内でのイベント以外に他の大学生と触れ合う機会や場がなく、友達が増えないことも悩んでいる。最後には、祖国にいたときではよく運動していたのに、日本に来てから、みんなが生活のため、個人ひとりの力でみんなの都合の良い日を統一することが難しく、一緒に運動することがしたくてもできない状態である。たとえ、運動会ができれば、バイトを休むのも惜しまないことがみんなの意志である。

対象：京都および関西地域各の大学の学生

参加者数：280人

会場：長岡京スポーツセンター西山公園体育館

競技種目：バスケットボール、サッカー、卓球、バドミントン

日程：2009年12月1日

主催：京都留学生体育祭実行委員会

協賛（以下予定）：中華人民共和国駐大阪領事館

京都府国際センター

京滋・奈良生活協同組合

立命館大学生生活協同組合

京都大学生生活協同組合

同志社大学生協同組合
京都府生活協同組合連合会
京都商工会議所

後援（以下予定）： 外務省
中華人民共和国駐大阪領事館
京都府国際センター
京都府
京都市
長岡京市
京都新聞
KBS京都放送
NHK京都放送
京都地区中国人留学生聯誼会
京滋・奈良生協留学生ネットワーク

活動第一責任者： 单麟 京都留学生体育祭実行委員会 委員長
京都地区中国留学人員友好聯誼会 会長
京都大学中国留学生学友会 会長

京都留学生体育祭実行委員：

実行委員長： 单麟 京都大学

副委員長： 马啸 京都大学

王屹 立命館大学

島岡緑里 京都工芸繊維大学

会計 陳星 立命館大学

渉外部： 李拓 京都大学

閻しん 立命館大学

委員： 曹洋 京都大学

田露 仏教大学

レマン 立命館大学

張奏明 同志社大学

張慧 京都工芸繊維大学

バスケット責任者： 高飛 京都府立医科大学

王路 立命館大学

サッカー責任者： 陈晓戈 立命館大学

卓球； 紀旭 京都大学

バドミントン； 吳鴻 京都精華大学

3-6 国会議員等との対話—留学生問題懇談会

留学生問題の現状と対策

京都大学中国留学生学友会

現在、日本の留学生政策などまだ課題が多く残っている。それらの問題点をめぐって私は京都大学中国留学生を代表して日本衆議院議員竹内譲様へ留学生問題に関する懇談会を開催する要望を提出した（2009年11月中旬）。12月5日京都大学等中国留学生代表と日本衆議院議員、京都府京都市議員達が留学生問題に巡って懇談会を京都新都ホテルで行った。

2009年12月5日 留学生問題の懇談会

参加者

劉徳強（京都大学経済学研究科教授）

韓立友（京都大学国際センター助教）

馬瀟（西日本地区学友会会長、京都大学博士後期課程）

単麟（全日本学友会副会長、京都大学学友会会長、京都大学博士後期課程）

王勇（京都大学学友会副会長、京都大学修士課程）

郝洪芳（京都大学学友会事務局長、京都大学修士課程）

高明珠（同志社大学大学院文学博士後期課程、留学生問題の課題を研究中）

日本議員参加者

竹内譲衆議院議員・角替京都府議会副議長

津田京都市会議員・平山京都市会議員・諸岡京都府議会議員

中国人に限らず、外国人留学生の日本留学において、①留学生の選抜、②学校教育の向上、③経済的負担、④卒業後のフォローアップの点において様々な問題が存在し、現状と対策について以下のようなことを提案したい。

1. 留学生の選抜の問題（=>日本政府、大学、学部の対応）

現状： ①優秀な学生が数多く日本に来ている一方、質の低い学生も少なからず日本に来ているため、中国留学生に対する全般的なイメージを低下させた。

②来日している中国留学生には、専門分野では日本語出身者に偏っている。対策：

①米国のGREのような試験（日本版GRE）で優秀な学生を共通の基準で選抜すべきである。=>政府

②大学における日本語教育の充実： 優秀な人材であれば日本語ができなくても、日本の大学に受け入れてから、日本語教育を徹底的にやる。政府+大学

2. 留学生に対する教育の質の問題（=>政府、大学、学部、教師の対応）

現状：学位授与基準が不明確、時間がかかりすぎる。大学院教育の質が米国と比べたら低い。(これは留学生だけの問題ではなく、すべての学生にかかわる問題である。)

対策：①博士学位の授与基準を明確化すること ⇒政府

②その基準を博士課程の3年以内にクリアできるよう大学院教育を徹底すること⇒大学

③学位の授与に関して、留学生を特別視しないこと。「日本留学」を「日本製品」と同じように高品質の代名詞にすべきだ。

3. 費用負担の問題 (⇒政府、大学、民間の対応)

現状：経費負担が重い。アルバイトに時間がとられてしまう。

対策：①奨学金の増額、授業料減免 ⇒政府

②奨学金の充実と整理（個別募集から一元募集へ）：多くの民間奨学金は募集人数が少なく、そのために多くの学生が応募するため、時間の負担も重くなってしまう。 ⇒ 大学+民間

③アルバイト先の紹介、とりわけ留学生の専門知識を生かして関連企業でアルバイトできるよう斡旋すること（このことは留学生の生活や勉強、アルバイト先企業にとっても大変有益だと思われる） ⇒民間

4. 帰国後のフォローアップ (⇒政府、大学、学部など)

帰国留学生のネットワークを構築し、帰国後の連携や交流を継続できる体制を作ること⇒ 政府+大学

5. 大学予算削減の問題



左側中国代表（下2単麟）

右側日本議員代表



懇談会の写真

(右1 単麟)

2009年12月5日、京都大学の中国人教員と留学生7人が国会議員、京都府、京都市議員らと留学生をめぐる問題に関する懇談会が行われた。

衆議院議員竹内議氏が挨拶の中で日中歴史や日中友好に触れて、日本と中国の関係の重要性を強調した。その後、在席の中国人教員及び留学生たちが日本の留学生政策や問題などについて熱く語った。

京都大学教授の劉徳強氏が自分自身80年代日本で留学した当時と現在の留学生の状況の違いを述べた。当時めずらしかった留学生が現在大幅に増えて、状況がずいぶん変わった。中国人留学生の増加は日中両国にとって大事な問題で、うまく行けば、日中の将来の交流に大変役にたつことになるという。しかし、日本の留学生政策などまだ課題が多く残っている。それらの問題点をめぐって中国人教員と留学生が活発な発言した。

一つは留学生の選抜問題について。現在の状況として、日本政府はきちんとした基準を設けていなく、必ずしも優秀な学生だけが来ているのではないのである。優秀な学生をとるため、やはり日本に来る前にちゃんとした試験を行ったほうがよい。現在、私費留学は留学斡旋のブローカーによって市場化され、問題が多く存在し、きちんとした試験があれば、ブローカーによる問題も少し抑えられると考えられる。また、大学の日本語教育を充実させ、日本語できなくても安心して留学できるような環境が作れば、現在日本語専攻の学生が大多数を占める状況も打破できて、専門を問わず優秀な学生をとることができるのではないだろうか。

もう一つは**大学予算削減の問題**、奨学金と宿舎の問題である。現在、日本では奨学金の数や金額がまだ少ない。そして、民間財団などの募集はバラバラで、応募するには大変体力と精力とお金がかかってしまう。できれば、それらの奨学金をまとめて、何か応募しやすい制度にしたら、留学生の負担を減らせると考えられる。また、日本では学生寮が数少なく、民間アパートは高く、

学生の負担になってしまい、アルバイトで勉強の時間が取られてしまう。学費もよい大学ほど減免が難しくアジアの学生にとって大変な負担になる。お金がない優秀な学生も来られるよう学費の免除枠はもっと増大すべきなのではなかろうか。

試験を行い、来日後の宿舍、奨学金も確保して、日本政府・大学が責任を持って留学生を取り入れるようにすれば、優秀な学生が来るに違いないだろう。そのような優秀な学生が日本で勉強し、必ずや将来日中両国のために貢献するだろう。

留学生の進路として、博士号を取るまで研究を進める道と日本で就職するという日本での進路選択がある。どちらのほうでも問題点が残っている。一つは日本の大学は博士号をなかなか与えないところと、簡単に与えてしまうところがある。きちんとした基準がない。そうすると、いくら努力してもなかなか博士号がもらえず就職できない人と、博士号をもっていても学力がない人が出てきてしまう。きちんとした基準を作り、世界でも質が高いことで知られている日本製品みたいに、研究の世界でも「日本」というブランドができるように博士号の質を高めていく必要があるのではなかろうか。

一方、就職のほうは、勉強中のアルバイトの紹介から中国人留学生のいろいろな能力を活かせる仕事を紹介し、それがまた就職につながると一石二鳥の役割がある。更に、就職後のフォローとして、簡単に相談できる場所があったほうがよい。外国人が日本で就職すると、会社などでそれなりにいろいろな問題に面することになる。その時に、トラブルが起らないよう、うまく問題を乗り越えられるよう、フォローが必要になる。就職前の相談と就職後のいろいろな法律的、ビザ関係、悩みなどが相談できれば、もっとスムーズに日本社会に貢献すると考えられる。

以上の中国人たちが提起した問題について、議員らは今後どう改善していくかを探っていくという。今回の懇談会はよりよい現実的な成果に結びつけたら何よりである。

(文責：単麟)

4. 京都大学嵐山合唱団の設立及び活動記事

4-1 京都大学嵐山合唱団の誕生と会則

団名の由来：周恩来総理の詩 - 「雨中嵐山」 日中友好の象徴

2009年2月から、私の提案より京都大学中国留学生学友会の資源を活用して、京都大学嵐山合唱団を設立する。私はその初代の団長を務めた。本団趣旨：本団は京都大学の指導下で、合唱芸術を愛し、音楽に造詣がある京都大学中国留学生、日本人学生および世界各国留学生たちから構成するアマチュア音楽団体である。本団は、中日青少年友好交流および国際的な民族音楽文化交流を促進し、芸術的なキャンパスを作り、学生さんの芸術的教養を高めることを目的とする。日常活動を通じ、一步一步制度化するようになり、芸術レベルが高く、学校を代表できる優秀な社会団体となるのを目指す。京都大学嵐山合唱団が結成以来、京都大学の学生を代表し日中青年文化交流公演、神戸祭りなど数多くイベントに参加し、各界からの注目を浴びた。

現役団員人数：中国留学生 35 人、日本学生 9 人、他国留学生 6 人、合計 50 人
(男子 28 人、女子 22 人)

京都大学嵐山合唱団会則

第1条 (名称および所在地)

1、本団は、京都大学嵐山合唱団と称する。

(中国語：嵐山(爱乐)合唱団；英語：Arasiyama (Philharmonic) Chorus)

2、本団の所在地は、会長が指定する事務局の所在地にあるものとする。

京都府京都市左京区吉田本町 京都大学学生課京都大学中国留学生学友会 行

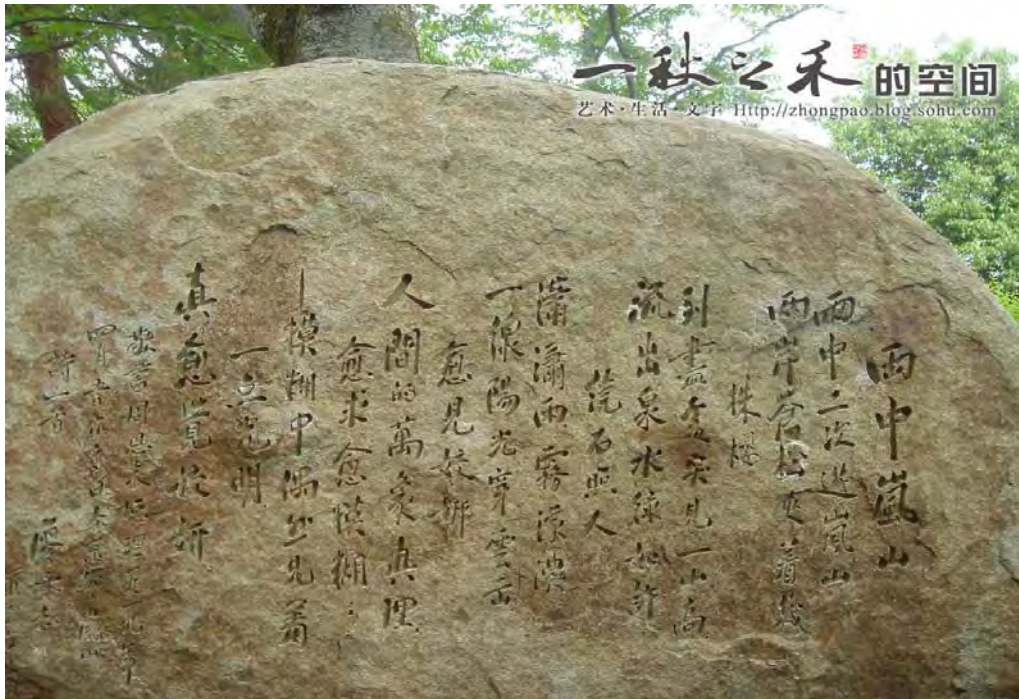
3. 名前の由来：《雨中嵐山》— 日本京都の嵐山

雨中二次游嵐山，两岸苍松，夹着几株樱，到尽处，突见一山高，流出泉水绿如许，绕石照人，潇潇雨 雾濛浓，一线阳光穿云出，愈见娇妍，人间的万象真理，愈来愈模糊，——模糊中偶然见着一点光明，真愈觉娇妍

周恩来総理大臣 京都嵐山 1919年4月5日

“相信中日友好一定会更加光明，中日友好的花朵一定会更加娇艳”

温家宝総理大臣 京都嵐山 2006年4月13日



周恩来総理の詩 - 「雨中嵐山」 日中友好の象徴

第2条 (性質および目的)

- 1、本団は京都大学の指導下で、合唱芸術を愛し、音楽に造詣がある京都大学中国留学生、日本人学生および世界各国留学生たちから構成するアマチュア音楽団体である。
- 2、本団は、中日青少年友好交流および国際的な民族音楽文化交流を促進し、芸術的なキャンパスを作り、学生さんの芸術的教養を高めることを目的とする。日常練習活動を通じ、一步一步制度化するようになり、芸術レベルが高く、学校を代表できる優秀な社会団体となるのを目指す。

第3条 (事業)

本団は前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- 1、合唱団の運営
- 2、参加者相互の親睦を図るレクリエーション事業等の実施
- 3、学校合唱祭及び合唱コンクールの主催又は援助
- 4、その他目的の範囲において適当と認めた事業

第4条 (役員およびその役割)

- 1、本団は役員として、団長、副団長、指揮およびその他の役員を置く。

2、各役員および各部の役割：

団長：本団の日常仕事を主宰し、合唱の練習と本団の事業発展に責任を負う。

副団長：団長を補佐し、合唱団の団員管理、活動宣伝および事業展開に協力する。

指揮：本団の発音、発声等技術の総指導者として担当する。

声楽部：団員が専門的スキルを育てるために日常練習活動を行い、団員の芸術的教養を高める仕事を担当する。また、団長および副団長を補佐し本団を管理する。

宣伝部：本団の対外的な宣伝、各活動の企画および文書製作を担当する。ポスター製作、コンピュータの製図、撮影、文書の立案、活動企画に関する才能がある部員から構成する。

事務局：団長、副団長のリーダーシップを補佐し、団員への連絡管理責任者として担当する。本団資料を整理し、本団財産などの日常の事務を管理する。

第5条 (団員)

1、入会する人は、書面をもって届け出て本団委員会の承認を得なければならない。一般的に以下の条件を備える人が申し込みすることができる。

- ① 当会則を承認して、自らの意志で当団に参加する；
- ② 京都大学の在校生；
- ③ 一定の音楽基礎知識および声楽の条件を持つ人；
- ④ 余裕の時間がある；
- ⑤ 意識的に本団の主旨・規律を守ることができる。

2、権利と義務

- ① 本団の公演や活動に参加する；
- ② 本団の日常仕事に対し、討論や提案し批判する権利を持つ；
- ③ 選挙権、被選挙権をもつ；
- ④ 入団は自らの意志で、退団は自由することができる。退団する時に書面を出すべきである。なお、団員が3ヶ月以上集団活動に参加しない場合は、自ら退団する

第6条 (活動)

- 1、本団は計画に基づき、二週間ごとに一回の練習会を行う。公演また試合がある場合は、練習回数を適当に増やす。練習内容は発音、発声、合唱、混声等の練習、作品の芸術的な処理および音楽の基礎知識等方面である。
- 2、毎回の練習する前に、事務局は出席状況を把握する責任がある。それぞれの声部で出席する人数はその声部の80%を達することが望ましい。
- 3、連続に5回練習を無断に参加しない人は公演またコンクールの資格を自動的に取り消される。
- 4、練習また公演の成績によって、優秀な団員を選び、奨励する。

- 5、リーダーを交代することに関して、毎年度一回、学期終了前に公平で民主的に投票する。団員の全員に対し、公開また公正な原則を守る。

第7条 (会計)

- 1、本団の資金源は日本人の友人の援助および国際友好な交流団体の賛助資金である。
- 2、本団の資金支出は主に人員補助金、専門家礼金、資料費、日常練習費、公演参加費などの集団活動出金および本団の正常な発展に必要な運用金である。

第8条 (その他)

- 1、本団の目的を達する時、解散する時、また分立・合併等原因で停止する時に、団長から停止提案を提出し、全員の採決で採択する。
- 2、本団が停止する前に、領事館の指導の下で清算グループを成立する。清算グループは債権債務を整理し、善後処理を行う。
- 3、本団が停止した後の余剰の財産に関して、清算グループは団員の個人物品を本人へ返し、本団の集団物品および流動資金の帰属を確認する。

第9条 (附則)

- 1、当制度は学校の政策や管理制度等が抵触する場合は学校の制度に従って実行する。
- 2、当制度は公布の日から実施する。
- 3、この規約に必要な細則は、本団委員会がこれを定める。

初代団長：単 麟

2009年4月1日

4-2 活動記事



2009年4月京都大学嵐山合唱団成立記念演出-京都大学時計台



京都大学嵐山合唱団一部 2009年7月神戸祭り演出



京都大学嵐山合唱団一部 2009年7月神戸祭り参加



Young Dream in Kyoto2009 日中青年文化交流公演



京都大学嵐山合唱団(2) 10月2日京都大学時計台百周年記念ホール

また、新聞記事を参照してください

5. 京都府名誉友好大使 - 知事任命及び活動記事

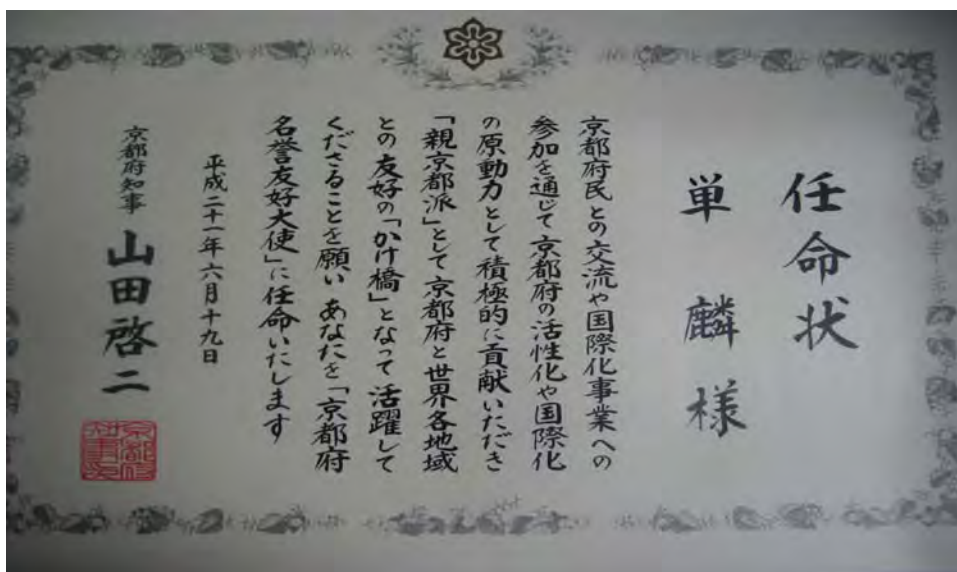
京都府山田知事より「京都府名誉友好大使」を任命される

私は京都府開庁 141 周年式典で、京都府知事山田啓二から「京都府名誉友好大使」に任命された。京都府の市町村を巡り、中国語講座、文化交流会を主催し、多様な文化交流活動を行った。上海万博日本館「京都 Day」の開催計画委員として提案の作成を参加した。そして、日本を代表する京都の伝統工芸文化についての理解を深めるため、蒔絵師下出右太郎先生の所で蒔絵の勉強を始めた。



京都府知事より京都府名誉友好大使の任命式（単麟（左下）、山田知事（真中））

2009年6月19日



6. 京都大学中国学者学術交流会の設立及び活動記事

参考資料 2 を参照。

7. 障害者機構への協力と支援（ボランティア活動）

NPO 関西障害者国際交流協会と協力し、2009年5月 - 6月中国障害者芸術団の来日公演中に（千手観音公演）日本語通訳、舞台監督補助、案内等を活躍した。